

クローズアップ 企業内作業学習 ジョブプラン

企業と学校が提携して障がい特性に応じた作業を開発しています。

登録番号 47号 株式会社サン・シング東海

揖斐郡大野町西方732番地の1 代表取締役 神田 伸一郎

【実施状況】 7月 5日(火)～ 7月15日(金)計8日(揖斐特別支援学校)
12月 6日(火)～12月16日(金)計8日(揖斐特別支援学校)
1月17日(火)～ 1月26日(木)計7日(揖斐特別支援学校)

ジョブプラン①【作業名 布団の解体】

- ・リッパーで綴じ糸を切る。
- ・外した糸をブラシで取る。
- ・側生地から綿を取り外す。

<工夫した点>

- ・効率よく糸を取ることができよう、切れ目を入れる場所を決めた。
- ・糸の取り残しがないように手前から奥に向けて丁寧にブラシを掛けるようにした。
- ・安全に作業できるように、リッパー使用後は直ぐにキャップを付けてポケットにしまうようにした。



ジョブプラン②【作業名 綿を製綿機に掛ける】

- ・外した綿を製綿機のローラーに広げる。
- ・広げた綿の上に新品の綿をちぎってのせる。

<工夫した点>

- ・外した綿は、隙間なく平らに敷くようにするため、綿に切れ目ができてローラー部分が見えていないかを確認するようにした。
- ・新品の綿が均等に混ざるよう、まんべんなくちぎって散らすようにした。



▼生徒の感想

- ・布団の解体作業で、リッパーが機械の中に入ってしまうと機械が故障して火災になる可能性があることを聞きました。指示を守って作業することの大切さと働くことの責任を学びました。
- ・終日、立ち仕事で疲れましたが、集中力を保って仕事をすることができました。難しい仕事も職場の方々から丁寧に教えてくださったので少しずつ自分ができるようになってきました。

ジョブプラン③【作業名 側差し】

- ・側生地を裏返して手繰り寄せる。
- ・再生した綿を機械で詰める。

<工夫した点>

- ・側生地のたるみや安全面を確認してから機械のボタンを押すようにした。
- ・2人で行う作業なので、ペースを合わせて手際よく作業が行えるように、互いに顔を見て確認するようにした。



登録番号 62号 西濃運輸株式会社

大垣市田口町1 取締役社長 神谷 正博

【実施状況】 1月12日(木)～2月3日(金)の間の計11日(大垣特別支援学校)



ジョブプラン①【作業名 パソコンデータ入力】

- ・社員番号から基本情報を確認できるソフトを利用して、個票に氏名や支店名、所在地を入力する。
- ・社員の方から依頼のあった申請書の作成をする。

<工夫した点>

- ・ノートを準備し、読み方がわからなかった名前や名称をメモするようにして、再度入力するときに自分で確認できるようにした。
- ・担当の方への質問の仕方を決めておくことで、わからないことがあったとき、すぐに質問ができるようにした。



ジョブプラン②【作業名 書類発送準備】

- ・入力したデータをプリントアウトする。
- ・データと原本を照合する。
- ・担当者へ報告する。

<工夫した点>

- ・プリントアウトから原本照合、報告までの流れが理解できるように、実際に作業手順通りに動いてその場ごとの作業内容を確認した。
- ・正確に照合作業が行えるように、照合確認の項目に分けて示し、順番に確認できるようにした。



▼生徒の感想

- ・普段、なかなか使うことがないパソコンの作業で、入力を間違えないように集中力が必要でした。難しい作業はメモを取ってやり方を覚えるようにしました。
- ・作業中におなかの調子が悪くなることがあったので、体調を整えることや、体力を付けることがこれからの課題だと思いました。また、社員の方にやさしく接していただけるととてもうれしかったです。今度は自分から進んで話ができるようになれるといいと思いました。

登録番号 304号 株式会社オークワ西改田店

岐阜市西改田川向147-1 店長 森本 佳孝

【実施状況】 4月19日(火)～ 7月12日(火) 計8日(岐阜特別支援学校)
 9月 6日(火)～12月20日(火) 計9日(岐阜特別支援学校)
 1月17日(火)～ 2月14日(火) 計5日(岐阜特別支援学校)

ジョブプラン①【作業名 お弁当作り】

- ・トレーに惣菜を詰めてお弁当を作る。

<工夫した点>

- ・完成した弁当を見本として目の前に置き、見比べながら各惣菜を詰められるようにした。
- ・きれいに惣菜を詰められるように、「自分がお弁当を買うお客さんだったら」を常に意識しながら作業するように徹底した。



ジョブプラン②【作業名 食品の計量とパック詰め】

- ・決められた量を計量してパックに詰める。
- ・詰め終わった後、ふたをする。

<工夫した点>

- ・食品を扱う仕事に携わっており、異物の混入があってはならないことや、菌を持ち込まないようにしなければならぬことを説明し、身だしなみを整えて作業できるようにした。
- ・手際よく計量するために、両手を使って作業することを意識するように説明したり、両手で作業しやすいように物の配置を決めておいたりするようにした。
- ・ふたをする時に中身がつぶれないようにするため、指で押さえる位置と順番を決めておくようにした。



▼生徒の感想

- ・分からないことがあったとき、担当の方に質問すると、親切に教えていただけるので、安心して作業ができました。
- ・次に同じ作業をさせていだいたときにはもっとうまくできるように、作業ポイントのメモを読み返したり、家で包丁を使う練習等をしてりました。うまくできるようになったときはとてもうれしかったです。

ジョブプラン③【作業名 ラベル貼り】

- ・パック詰めした惣菜にラベルを貼る。

<工夫した点>

- ・まっすぐラベルを貼ることができるように、パック詰めした惣菜の種類ごとにラベルを貼る目印になる位置を決めておくようにした。
- ・手早く作業ができるように、社員の方が作業している様子を見せて動きを説明し、真似ることができるようにした。



登録番号 485号 オリオンベーカリー

美濃加茂市川合町4-2169-15 店長 林 三智子

【実施状況】 10月19日(水)～11月16日(水) 計5日(可茂特別支援学校)
 1月18日(水)～ 2月15日(水) 計5日(可茂特別支援学校)

ジョブプラン①【作業名 パンの生地の分割】

- ・パン生地の塊から、パンの種類ごとの指示された量で生地を分割する。

<工夫した点>

- ・時間がたつと生地が発酵して、味や食感が変わってしまうことを説明し、素早く作業することを意識して取り組めるようにした。
- ・確実に同じ大きさの生地になるように、分割後に重さを量って確認するようにした。



ジョブプラン②【作業名 パンの仕上げ、製品の陳列】

- ・焼きあがったパンやドーナツにシュガーパウダーをかけたり、砂糖をまぶしたりして仕上げる。
- ・仕上げの終わったものから店内販売分と配達分に分ける。
- ・店内販売分は店頭で陳列して値段の札を置く。

<工夫した点>

- ・かける砂糖の種類を間違えないように、同じ砂糖をかけるパンをまとめておくようにした。
- ・一人でパンを分けることができるように、店内販売分と配達分(配達先ごと)の個数を表にして提示し、自分で確認して作業できるようにした。



ジョブプラン③【作業名 パンの袋詰め】

- ・パンの種類や大きさに合わせて、異なるサイズの袋に詰める。
- ・袋詰めしたパンを箱に並べ、値段のシールを貼る。
- ・袋詰めして、パンがなくなった鉄板は、その都度きれいにして片付ける。

<工夫した点>

- ・袋詰めがしやすいように、同じサイズの袋に入れるパンをまとめておくようにした。
- ・値段のシールを貼りやすくするために、パンが重ならないよう並べて箱に入れるようにした。



▼生徒の感想

- ・作業の内容だけでなく、言葉遣いや時間を常に意識することなど、気を付けなければならないことが多く大変でしたが、実際の職場でのパン作りやシール貼りの作業はやりがいがあり、とても勉強になりました。
- ・初めてのことが多く、分からないことばかりでしたが、担当の方からひとつずつ丁寧に教えていただいたので、できることが増えました。